

第 15 回消化管 CT 技術研究会に参加して

小樽掖済会病院 平野雄士

第 15 回を迎えた消化管 CT 技術研究会の報告を致します。平成 29 年 11 月 11 日土曜日、福島県のコラッセ福島で行われました。

前回に引き続き復興支援を掲げての開催です。会場周辺はしっかり復旧されていましたが、まだまだ大変な地域があります。盛り上げていきたいところです。

オープニングは基調講演として『大腸 CTC に低管電圧はホントに有効か?』という JA 北海道網走厚生病院の二俣芳浩先生の講演で始まりました。『低管電圧を用いた CTC は被ばく低減に有効であり、かつ画質劣化も最小限である。』というアバウトな論文や風潮に真っ向から検証を加え、必ずしも低管電圧が被ばく減少に繋がるものではない事を示した優れた報告でした。同じ北海道にしながら今まで会うことがなかったのですが（北海道の広さを感じる）、これからも CTC の研究を通して活躍して頂きたい素晴らしい人材です。皆様お見知りおきを願います。（P 社ユーザーですが、そんな事は気にしない！）

Fig.1 網走厚生病院二俣さんの基調講演（Fig.1）



次は一般演題です。1 演題目は北福島医療センターの小野祐一先生の「位置決め画像の腸管拡張の有無が CT-AEC の線量へ及ぼす影響」でした。同一患者の同一 CT-AEC において、腹部 CT 検査と CTC 検査の間に線量に差がある事が多く、腸管拡張の有無が CT-AEC に影響していると考え、ファントム実験、臨床例で比較した検討である。ファントム実験では 44% 上昇、臨床例では 4% の上昇ということであった。着眼点としては興味深い内容であったが、ファントムと臨床例のデータの乖離を改善し、CT-AEC の特性を網羅して頂けたら、もう少しわかりやすい内容になっていたかと思う。

2 演題目は銚子市立病院の谷田川博一先生の「水分摂取による CTC 付着便改善への取り組み」でした。コロンフォートを利用した CTC では高張液前処置のため付着便の問題が取りざたされる。食後 250ml の水分摂取により残水は増えたが、付着便が減り読影しやすくなったという報告であった。難消化性デキストリンを用いたり、検査時間の調整をしたりいくつか効果的な方法は報告されているが、簡便に取り組める手段としては評価できる。

3 演題目は亀田総合病院の秋田裕介先生の「導入後 10 年を経過した当院における大腸 CT 検査の体制整備」でした。CTC を導入してから PDCA サイクルを回しながら検査手順書の追記改訂。継続的な勉強会の実施。医師からの要望への対応、講師依頼。前処置や鎮痙剤の変更。読影端末への WS 導入、説明を行ってきている。現在は 1 次チェック技師の増員を目標にしているという。施設としての模範的な取り組みであり、少しでもいいからマネしたいと思う内容である。あとはこちら側のやる気の問題かな。

4 演題目は公立岩瀬病院の真船浩一先生の「二次検査目的の大腸 CT 追跡調査報告」でした。便潜血陽性の 2 次検査目的で CTC を行った患者さんをターゲットに追跡調査を行い、CTC の成績を調べたものである。比較対象とした内視鏡検査に対し、C-RADS を用いていることも有り 6mm 以下の病変の検出には差があるものの、がんと診断した症例数の比較では劣らない結果がでており、2 次検査の役割を十分果たしているといえる。このような結果を各施設で示すことが出来たらもう少し CTC のポジションも違ったものになるだろう。



15th CT colonography Technologist Meeting

消化管CT技術研究会 in FUKUSHIMA

大腸CT、愛してるよお

	総合司会	吉川秀司 (大阪医科大学附属病院)
	代表世話人	坂本 崇 (済生会熊本病院)
10:00 - 10:05	開会挨拶	
10:05 - 10:10	当番世話人挨拶	当番世話人 松井大樹 (北福島医療センター)
10:10 - 11:00	基調講演	司会 : 平野雄士 (小樽掖済会病院)
	「大腸CTに“低管電圧、はホントに有効か?”	
		二俣芳浩 (JA北海道厚生連網走病院)
11:00 - 11:50	一般演題	座長 : 山崎通尋 (山下病院) 三原嵩大 (東京メディカルクリニック)
1.	位置決め画像の腸管拡張の有無がCT-AECの線量へ及ぼす影響	小野祐一 (北福島医療センター)
2.	水分摂取によるCTC付着便改善への取り組み	谷田川 博一 (銚子市立病院)
3.	導入後約10年が経過した当院における大腸CT検査の体制整備	秋田裕介 (亀田総合病院)
4.	二次検査目的の大腸CT追跡調査報告	真船浩一 (公立岩瀬病院)
12:00 - 12:40	教育講演 with Lunch	司会 : 小倉敏裕 (群馬県立県民健康科学大学)
	共催: 東芝メディカルシステムズ(株)	
	「大腸CTのエビデンス」	
		山本修司 (東京工業大学 情報生命博士教育院)
13:00 - 15:10	ついに決着か!? 天下分け目の大激論!!	司会:
	共催: 伏見製薬(株)/アミン(株)/杏林システマック	小倉敏裕 (群馬県立県民健康科学大学)
	鈴木雅裕 (イーメディカル東京 遠隔画像診断センター)	Round 1: バリウム vs ガストロ 藤原正則 (亀田メディカルセンター幕張)
	山崎通尋 (山下病院)	Round 2: 鎮痙剤あり vs なし 安田貴明 (上五島病院)
	松田勝彦 (済生会熊本病院)	Round 3: VGP vs VE 高林 健 (北海道消化器科病院)
積水メディカル/エーザイ セッション		
15:30 - 16:20	講演 1	司会 : 松田勝彦 (済生会熊本病院)
	「逐次近似応用再構成の物理データより考えるCTCへの応用と限界」	後藤光範 (宮城県立がんセンター)
16:20 - 17:20	講演 2	司会 : 坂本 崇 (済生会熊本病院)
	「大腸CTの開発と臨床応用」	平山真章 先生 (斗南病院)
17:20 - 17:30	次回当番世話人挨拶	次回当番世話人 山崎通尋 (山下病院)

特設ブースにて消化管画像診断に関する機器展示
(9:00~17:00)

研究会終了後、恒例の「情報交換会」を開催いたします。